

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ボランティア育成支援等事業費		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	育成環境課		為石 摩利夫			
会計区分	年金特別会計子どものための金銭の給付勘定		政策・施策名	地域における子ども・子育て支援策を推進する (VI-2-1)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	「子育て支援事業等助成費の国庫補助について」 (厚生労働事務次官通知 平成6年8月22日 厚生省発児第137号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の子育て支援の担い手である子育てNPO等の民間活動を支援するために、子育てNPO指導者や子育てサークルリーダーのための研修会やセミナーを開催することにより、地域における多様な子育て支援策を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子育て支援指導者や子育てサークルリーダー、子育てNPO等、子育てボランティアを育成・支援するための研修等を実施。 ○実施主体:一般財団法人こども未来財団 ○補助率:定額								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計	130	131	130	82	57		
	執行額	130	131	130					
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	本事業は、地域の子育て支援の担い手である子育てNPO等の民間活動を支援するために、子育てNPO指導者等に対する研究等を実施するものであるが、地域における子育てを巡る環境は様々であることから、一律の成果目標を設定することは馴染まない。			成果実績	か所	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研修会の実施か所数			活動実績 (当初見込み)	か所	110	110	97	-
						(65)	(65)	(65)	(40)
単位当たりコスト	(1百万円/1箇所)			算出根拠	単位当たりコストX/Y X:平成24年度執行額【130百万円】 Y:平成24年度研修等実施か所数【97か所】				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	ボランティア育成支援等事業費	82	57	実績見合いによる研修実施か所数の減					
	計	82	57						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	研修会を実施することを通じて、地域における多様な子育て支援の充実に寄与することを目的としており、広く国民にニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	既存の公的サービスではない、機動的、弾力的な事業を実施するため、民間等に委ねるべき事業と考える。		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	-		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	児童の育成に幅広い知識と経験を有し、事業の実績のある法人を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	広く参加を促すよう参加料を無料としており、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	適切な基準額を算定し、補助している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	講師の謝金や会場借上料等事業に必要な経費を支出している。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	対象経費については、助成要領にて真に必要なもののみ規定している。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	活動実績は当初見込みよりも上回っており、実行性の高いものになっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	毎年当初見込みを上回る活動実績になっている。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
-	-	-				
-	-	-				
点検結果	地域社会の人々の共同意識や連帯感が希薄化している昨今の状況において、地域における子育てNPOや子育てサークル等に対し、活動プログラムや組織の運営方法等の研修を実施することにより、地域における子育て支援の充実を図ることは、地域の子育てしやすい環境づくりに資するものである。24年度においては、97か所で研修を実施し、地域における子育て支援の充実を図っている。また、各点検項目による評価も妥当であることから、事業を継続して実施する。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	本事業については、支出対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直しを図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	実績見合いによる研修実施か所数の減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0837	平成23年	0747	平成24年	0656

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
130百万円

国庫補助申請書の審査
交付決定

【補助】

A. 財団法人子ども未来財団
130百万円

・研修会等を実施するNPO法人等の公募、公募したNPO法人等との共催による研修会等の実施
・事業費の支払い

【公募・委託】

NPO法人、地域組織等

未来財団との研修会等の共催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.一般財団法人こども未来財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	NPO法人等との共催による研修会等の実施に要する経費	111			
事務諸費	公募及び研修会等の実施に要する事務諸費	19			
計		130	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人こども未来財団	家庭の育児を支援する事業の振興、児童の健全育成等を支援する事業の振興等	130		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					